

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年3月29日

計画の名称	26 学研北生駒駅周辺における安全・安心で賑わいのあるまちづくり（第二次）		
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）	交付対象	生駒市
計画の目標			

学研北生駒駅周辺のまちづくりの目標である「新たな活力と交流を生み出すうおい豊かな地域拠点」を実現するため、用途地域の見直しを契機とした民間開発の誘導により、活力にあふれた地域の交流と連携の拠点を創出し渋滞によるロスの少ない人・物の移動を確保する道路ネットワークと駅を中心とした利便性の高い交通環境を形成するとともに、災害にも強い人にやさしい安全・安心なまちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）	①上村大橋交差点の交差点需要率を25%減少する。（現況との比較） ②新市街地化区域内における民間集客施設等の立地率を57%（H28）から90%（H30）に増加する。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)	
① 上村大橋交差点の交通量調査及び交差点解析を行う。 〔上村大橋交差点の交差点需要率の削減値=1-(評価時点の交差点需要率/H28時点の交差点需要率)〕	0%	-	25%	
② 開発可能区域内における民間集客施設等の立地状況を調査し、まちづくりが完了したエリアの割合を算出する。 (民間集客施設の立地率=開発完了面積÷新たに市街化区域に編入した面積)	57%	-	90%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	53百万円	A	53百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	-
-------	---------------	-------	---	-------	---	---	---	---	---------------------------	---

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	平成31年3月
定量的指標の実績値を測定のもと、市において事業効果の発現状況を考察する。	公表の方法
	生駒市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H29	H30	H31	H32	H33		
26-A1	道路	一般	生駒市	直接	-	市町村道	改築	白庭台北38号線	現道拡幅 L=186m	生駒市						52	
26-A2	道路	一般	生駒市	直接	-	市町村道	改築	芝山田線	バイパス L=66m	生駒市						1	
											合計	53					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	H31	H32	H33			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
											合計	-					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
-																	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					金体事業費 （百万円）	備考
										H29	H30	H31	H32	H33		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
										合計			—			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
—	—															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・白庭台北38号線の現道拡幅や芝山田線の整備を行った結果、上村大橋交差点への流入交通が削減され、交差点の負荷が軽減された。 ・白庭台北38号線の現道拡幅や芝山田線の整備により、新市街地化区域内における民間集客施設等の立地が促進された。 													
II 定量的指標の達成状況	指標①（上村大橋交差点の交差点需要率削減率）	最終目標値	25%	目標値と実績値に差が出た要因											
		最終実績値	45%												
	指標②（新市街地化区域内における民間集客施設等の立地率）	最終目標値	90%	目標値と実績値に差が出た要因											
		最終実績値	80%												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）															

3. 特記事項（今後の方針等）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--